



・会長 山田 直樹 ・幹事 仲澤 昌容 ・クラブ会報 桜井 雅博
 ・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail: jimu@owariasahi-rc.org URL: http://www.owariasahi-rc.org

本日 第2231回 2017年2月10日(金) No. 2116

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者:井田 武憲君

点 鐘

**卓 話 者:JAあいち尾東 農業協同組合
 代表理事組合長 吉田 濱一様**

ロータリーソング「我等の生業」

演 題:「 地域農業とJAについて 」

前 回 第2230回 2017年2月3日(金) 記 録

○斉唱:「奉仕の理想」

○ゲスト:一般社団法人尾張旭青年会議所

2017 年度 理事長 江尻 哲久様

専務理事 小島 弘丈様

出席者:会員 21 名中 16 名出席 出席率 76.19%

前々回補正出席率 1 月 20 日分 95.23%

会長あいさつ 山田 直樹



みなさんこんにちは。
 今日は第 2230 回の例会です。ゲストに一般社団法人尾張旭青年会議所理事長江尻哲久様、専務理事小島弘丈様をお迎えしまし

た。1 月からのスタートですのでこの 1 年実り多き結果を実現されることを心よりお祈り申し上げます。後ほどご挨拶を頂戴いたします。来訪者に瀬戸 RC の大竹一義様がきてくださいました。大竹さんには昨年度地区幹事の重責を担われ、我々も大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。今日はゆっくりとしていってください。世間ではこの 1 週間アメリカのトランプ大統領の行動言動に振り

回されている感を受けました。経済問題、防衛問題、移民難民問題などどの分野に関しても言いたい放題です。自国の利益追求を最優先に考えて他国のことを考える必要なく政策を実現させようとする。今回のこの一連の動きになるということ、我々は初めて経験しているわけですが、世界が力を合わせて互いに発展していく方向を見失なわないように心してかかっているかなければなりません。アメリカ国民もトランプ大統領の政策に強い反対がおきているようですが、まだまだ半分の人々が支持している現実を受け止めなければなりません。このあとの安倍首相との首脳会談がお互いの理解に大きな成果が上がることを祈ります。

幹事報告

・1/30(月)一般社団法人尾張旭青年会議所様

1 月例会・通常総会 於尾張旭市勤労会館

高島会員増強委員長、加藤青少年奉仕

委員長 出席

本日の会合:第 10 回理事役員会 於尾張旭市商工

会館内 第一会議室 13:40~

平和と紛争予防・紛争解決月間

	2月17日(金)	2月24日(金)	3月3日(金)	3月10日(金)
例	卓話担当者:山田会長	卓話担当者:桜井 雅博君	卓話担当者:プログラム	卓話担当者:金森 俊輔君
会	卓話者: "	卓話者: "	委員会	卓話者:ふみもと子供将棋
予	演題:「第4回クラブ	演題:「東日本大震災の	卓話者:山田 外美代様	教室 文本 力雄様
定	フォーラム」	訪問支援で思うこと」	演題:「万博おばあ	演題:「 未定 」
			ちゃん世界を巡る」	

おめでとう



○誕生日祝福

2月1日 松永 洋子君

2月7日 富田 晃君

ご夫人 さなゑ様

2月17日 西尾 輝久君

ニコボックス

○久しぶりにおじゃまします。地区幹事の昨年は大変お世話になりました。今年もよろしくお願いします。

瀬戸 RC 大竹 一義君

○家内の誕生日を祝っていただき。 富田 晃君

○誕生日を祝っていただき。

松永 洋子君、西尾 輝久君

○瀬戸 RC より大竹一義さんが来て下さいました。昨年度は大変お世話になりました。御苦労様でした。

山田 直樹君

○大竹さん、ようこそおいでいただきました。先期はお仕事ご苦労さまでした。

加藤 清久君

菊田 利昭君、古橋 裕志君

○本日、尾張旭青年会議所より江尻哲久理事長と小島弘丈専務理事をお迎えして。歓迎いたします。

山田 直樹君

○息子が訪問します。よろしくお願いします。

江尻 豪君

○JCのみなさん、ようこそおいでいただきました。

加藤 清久君、高島 昇君、古橋エツ子君

古橋 裕志君、箕輪 良孝君

○松永さんの初卓話を祝して。 山田 直樹君

○本日卓話で自己紹介をさせていただきます。人前で話すのは苦手なのでとても緊張しますが、これを機会に慣れていきたいなと思っております。宜しく
お願い致します。

松永 洋子君

○松永さんの卓話、楽しみにしています。

加藤 清久君、金森 俊輔君、箕輪 良孝君

○今日は節分です。恵方巻きを用意してみました。

箕輪 良孝君

○本日節分。いよいよ春近しですね。 加藤 清久君

○西尾さんにごちそうになりました。 仲澤 昌容君
菊田 利昭君

○多忙にて申し訳ありませんが早退致します。

高島 昇君

第10回理事役員会

日時：2017年2月3日（金）13:40～

場所：尾張旭市商工会館内 第一会議室

議題：1) 会長からの報告（山田 直樹会長）

- ・「日本ローター 100 周年委員会」運営協力金について — 協力することで承認された。
- ・国際ローター意義ある業績賞応募について 応募しないことで了承された。

- ・米山奨学生世話クラブ承諾について 承諾することで承認された。

2) 1 月度会計報告（仲澤 昌容会長見委員長）

- ・了承された。

3) 民生委員会 100 周年式典協賛依頼の件

- ・見送る事で了承された。

4) その他の件

- ・テレフォンカードについて

幹事に一任することで承認された。

表敬訪問



ご挨拶

尾張旭青年会議所

理事長 江尻 哲久様



ご挨拶

尾張旭青年会議所

専務理事 小島 弘丈様

卓話



「自己紹介」

松永 洋子

改めまして、松永洋子です。皆さんの貴重なお時間を頂いて恐縮ではございますが、自己紹介させていただきます。

1972 年 2 月 1 日名古屋生まれ。中村区で育ち、小学校三年生の時に尾張旭市に引っ越してきました。旭野高校、金城学院大学を卒業後、トーヨーサッシ(現在 LIXIL)で 5 年勤務し、退職後結婚しました。

父は昭和 15 年満州生まれ。刈谷高校・慶応義塾大学卒業。12 歳よりテニスを始め、国体・インタ

ーハイ・ねんりんピック等出場しており、ずっとテニスのコーチをしています。

母は昭和 17 年名古屋生まれ。金城学院中学・金城学院高校・金城学院大学卒業です。私は 3 人姉弟の真ん中で、姉は金城学院高校から金城学院大学へ。退職後結婚し、現在岩倉で暮らしております。

弟は愛知学院大学歯学部を卒業し、現在は刈谷で歯科医をしています。

私の話に戻りまして、結婚後、主人が東京転勤のため、5 年程千葉県市川市に住み、名古屋に帰ってきました。その時子供が幼稚園児だったので、千葉県からインターネットで必死に幼稚園探しをしました。始めはお勉強系の幼稚園でバスや給食があって・・・と自分が楽できるような幼稚園へと考えましたが、いろいろと検索していたら、長久手に「もりのようちえん」というところがあると知り、たちまち夢中になり、少ない情報の中「ここにしよう！」と決めました。場所は猪高緑地の東側で、本当に森の中。すべての教室がログハウスでできていて、クラスの名前も「どんぐり」「きのこ」「むかご」など。ほとんどプラスチック製品がなく、名札やお便りケースなども手作りのものばかり。お勉強は一切せず、ただひたすら外で遊びまくる。決められたことが何もないので、好きなことをすればいい。行事も〇〇発表会というものはなく、季節に沿ってタケノコ狩りや田んぼで泥遊び・田植えをし、秋には稲刈りをしたり、など、楽しそうなものばかり。冬になるといつも焚き火があって、焼き芋を焼いたり。卒園式は夜で、全員で火を囲んで歌を歌う。なんとも幻想的で思い出深いものでした。子供達も楽しいことばかりでしたが、母親たちも子供を預けている間、幼稚園の隣にある古民家を借りて、おくどさんでご飯を炊いたり、味噌作りをしたり、山にキノコ狩りに行ったり、いろんなことをして楽しみました。ただ、今子供達に「もりでこんなことあったよね～？」って言うのと「そうだった？忘れちゃった！」と言われるのがつくりしますが、私にとってキラキラした思い出沢山の一番好きな場所となりました。

さて、このもりのようちえんは、ゴジカラ村の中の施設の一つなのですが、ゴジカラ村というのは、当時幼稚園の理事長の吉田一平さんが作った村です。「くさる家に住む」という本でゴジカラ村を紹介しているので、それより抜粋させていただくと。～ゴジカラ村は住宅地に囲まれた雑木林の中にある。20 年前まであたり一面が雑木林だったが、あっという間に開発が進み、ここだけ島のように雑木林が残った。ここには 500 人以上の人たちが暮らしている特別養護老人ホーム、ケアハウス、ショートステイ、デイサービスセンター、幼稚園、託児所、看護と福祉の専門学校、古民家などが点在。そこを居場所に働いたり、生活している人たちがいる。ゴ

ジカラとはアフターファイブのこと。効率を追求する会社論理が通用するのは 5 時まで。そのあとに自由な時間がずっと流れており、時間に追われない国という意味が込められている。ゴジカラ村はあらゆる人に門戸を開いている。効率中心の社会に身を置くとオフまで時間に追われているのが現実。だからゴジカラ村の住民は子どもや高齢者など世間では弱者と呼ばれている人が中心となる。雑木林の中の建物は山を崩さず、木を切らず、木を超えてはならないと厳命されている。高低差の激しい敷地の奥の建物は樹木に完全に隠れていて何があるのか興味をそそられる。木々の中に潜む幼稚園とケアハウス。木々の間から隠し砦のようなログハウスがいくつも見え隠れしている。これが 92 年に設立された森の幼稚園だ。木を切らず子どもが増えるたびに小さな教室を林の中に建てていった。園舎のある高台から園庭までは崖のよう。入園したばかりの子どもはあまりの急坂に泣きながら上るという。それを年長さんが助ける。木々のあいだの獣道は歴代の子どもたちがおしりで滑って作った道だ。ブランコやすべり台はないけれど、泥んこ遊びの後に入れる露天風呂はある。ここでは字を教えない。自然の中を猿のように飛び回って過ごす 3 年間、子どもたちの遊びの工夫と転んでも怪我をしない身体感覚を身につけて育っていく。というところですよ。

このゴジカラ村を作った吉田一平さんは、現在長久手市長で頑張っておられます。

私の趣味は植物が好きで、特に今、多肉植物にはまっていて、こんな感じでリースや寄せ植えを作っています。

あと去年から乗馬を始めました。これがすぐに乗れると思っておりましたが、そう簡単にはいかず、ぼちぼちやっぺいこうかな・・・と思っています。夢は海岸を暴れん坊将軍のように走ることです。

こちらは、うちの年賀状です。毎年私が作っておりますが、数年前から雑誌風シリーズでやっています。ご覧の通り、上の子二人は剣道をやっています。

三郷駅から南のタイヤ館の裏にある達磨塾誠礼館という道場に通っております。達磨塾は秋田文夫塾長が

「地域社会に貢献できる健全な青少年の育成」を目標として 1982 年に創設し、剣道だけでなく少林寺拳法や書道教室などもやっております。昔は試合に出ても全く勝てない道場でしたが、8 年前に新しい先生が指導をはじめ、徐々に力を付け、今年の小学生は先月の尾張の大会、弥富から一宮・犬山・春日井・東郷まで名古屋周辺の 27 市の中で優勝することができました。剣道の試合は大抵、市や剣道連盟主催が多いのですが、この誠礼館ではめずらしく道場主催の大会を開いて

おり、今年 18 日瀬戸市体育館で第 5 回秋田杯を開催いたします。この場をお借りして秋田杯の宣伝させて頂きますと、素人ながらも、こんな感じでパンフレットもつくり、私が表紙のデザインや中のコラムなど書いていたりしています。千人以上の剣士が遠くは福井や大阪などから集まって熱戦を繰り広げる愛知県でも大きな大会となっております。他ロータリクラブでもロータリークラブ杯があるようですので、余裕がありましたら、ぜひメダルなど協賛して頂けると、ありがたいと思っております。

仕事に関してですが、主婦業も忙しく、なかなか本業の仕事をバリバリやっているとはいえ、父に任せてばかりで申し訳なく思っております。あと二年程したら、一番下の子が高校生になるので、本腰を入れてしっかり仕事をしていきたいと思っております。

まだまだ足りないことばかりですが、尾張旭市と尾張旭ロータリークラブの知名度を上げるために、微力を尽くしたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

バナー



2017 年 1 月 20 日
第 2660 地区
大阪淀川 RC のバナー
古橋 エツ子君

ガバナー活動報告

6 日（月）、米国サンディエゴで開催中のロータリー国際協議会で国際ロータリー会長エレクト、イアン H.S. ライズリー氏（オーストラリア、サンドリングラム・ロータリークラブ所属）が講演し、持続可能な奉仕というロータリーの目標にとって、環境保護と温暖化抑止が極めて重要であると訴えました。次期地区ガバナーに向けて講演したライズリー氏は、2017-18 年度の会長テーマ「ロータリー：変化をもたらす」を発表しました。環境の悪化と世界的な気候変動は全人類への脅威であると、ライズリー氏は述べます。「影響を最も受けやすいのは弱い立場にある人たちであり、そのような人たちこそ、ロータリーが助けていく必要があるのです。それにもかかわ

らず、環境問題がロータリーで議題に上がることはほとんどありません」

環境悪化は、国連の「脅威、挑戦および変革に関するハイレベル・パネル」によっても主な脅威のひとつとされています。

ライズリー会長エレクトは次のように続けます。「環境の持続可能性がロータリーの懸念分野ではないと言えたのは、昔の話です。今や、環境問題はあらゆる人にとって懸念すべきことです」会長エレクトはさらに、7 月 1 日の新年度開始から 2018 年 4 月 22 日の「アースデイ」までの期間に、各クラブで会員数と同じ数の植樹をするよう呼びかけました。木を植えることで、空気中から二酸化炭素やその他の温室化ガスを除去し、地球温暖化のスピードを和らげる効果があります。環境の持続可能性がロータリーの懸念分野ではないと言えたのは、昔の話です「この取り組みで 120 万本の新しい樹木が植えられ、環境への良い影響があるでしょう。しかし、それよりもっと大きな影響があると願っています」と会長エレクト。「それは、この取り組みを通じて、この地球に住む人だけでなく、地球そのものを救う責任がロータリーにはあると、私たちが気づくことです」ロータリーの未来を守るライズリー会長エレクトはさらに、2017-18 年度地区ガバナーに向け、クラブ会員の男女のバランスを改善し、平均年齢を下げるよう求めました。ロータリーにおける女性会員の割合は、10 年前の 13 パーセントよりは増えたものの、現在も全体の 22 パーセントにすぎません。このペースだとロータリーが男女均等を実現するまでにあと 30 年かかると、ライズリー氏は述べます。一人ではできないことも力を合わせれば実現できると、私たちは知っています

「私たちの住む世界を反映したロータリーを実現するために、30 年も待ってられません。今、これに優先して取りかかる必要があります」539 名の次期ガバナーのうち 103 名が女性であることに触れた上で、会長エレクトは「地域社会のすべての人とつながり、すべての人を代表し、支援するためにリーダーシップを発揮できる」女性をロータリーが必要としていると述べました。

さらに、現会員のうち 40 歳未満はわずか 5%であり、会員の大半が 60 歳以上であることにも触れ、若い世代の入会と参加を促す方法をクラブが模索する重要性を訴えました。「若い会員の入会促進に真剣に取り組まなければ、10 年後、20 年後にロータリーがどうなっているかを想像してみてください」会長エレクトはさらに、クラブが独自の決定に基づいて活動できると述べた上で、ロータリーの発展と将来を守っていくには、世界的なチームワークが必要であると力説しました。

「一人ではできないことも力を合わせれば実現できると、私たちは知っています。（中略）このチームワークと協力の精神を忘れずに、地区に戻って実践してください」

※国際ロータリー第 2760 地区 2016-17 年度
ホームページより抜粋いたしました。